

インターネットデータセンターを開設

当社プロバイダ事業「246-net / Business246」で2001年1月からサービス開始

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、電子商取引の普及などにもない急増するインターネットサーバの設置・運用保守のアウトソーシング需要に対応するために横浜市内にインターネットデータセンター「横浜 Server Colocation Center（以下横浜SCC）」を開設します。この横浜SCCは2001年1月20日からの営業開始を予定しており、当社インターネットサービスプロバイダ事業「246-net / Business246」の拡張サービスとして、インターネット接続サービス、インターネットサーバハウジングサービス、インターネットサーバ運用監視サービス等を提供していきます。

横浜SCCでは、開業当初より床面積800㎡、150ラック以上収容可能なインターネットサーバハウジング専用スペースを確保しており、その後も需要に合わせて拡張していく計画です。さらに今後は、東京都区内におけるインターネットデータセンター「東京SCC」の開設についても検討を進めていきます。

横浜SCCを開設する施設は、インターネットデータセンターとして必要不可欠な各種設備・対策を万全に備えたものになっており、お客様の信頼に十分応えうるセキュリティーを確保しています。具体的には、電源はすべて無停電電源装置からの供給になっており、万が一の際にも備蓄燃料を使用して自家発電機を稼働させることで、長時間にわたる電源供給が可能になっています。また、耐震床構造、自動消火設備などによる防災設備、専用の空調設備やセキュリティーカード付ドアの完備などの設備が備えられています。さらに、横浜SCC内には専任のスタッフが24時間常駐し、サーバおよびネットワークの監視にあたります。このほか、サービスメニューとして、お客様のインターネットサーバ設備についても、障害の監視から緊急時の復旧作業まで対応できる、インターネットサーバ運用監視サービスを用意しています。

通信回線については、横浜SCC内はギガビットイーサネットによるネットワークを構築しており、またJPIX接続を含めたバックボーンネットワークは複数芯単位での専用光ケーブルを使った高速接続を実現しています。

当社は本年4月に発表した「東急グループ経営方針」の中の「東急グループ成長戦略」において、メディア関連事業を重要事業として位置づけています。ここでは、鉄道敷光ファイバーケーブル、CATV網、無線、ADSL等のあらゆる通信インフラを活用し、首都圏の戸建住宅、集合住宅、オフィスビル、学校、病院等に対して高品質な情報通信サービスを提供し、高度な情報化環境の実現を目指す「スーパーテクノライン構想」を、その核としています。今回開設する横浜SCCは、この「スーパーテクノライン構想」の中にある、情報発信基地、技術支援の場としての役割を担っていくものになります。

「横浜 Server Colocation Center」と「246-net / Business246」の概要は次の通りです。

「横浜 Server Colocation Center」の概要

- 名 称 横浜 Server Colocation Center
- 所 在 地 横浜市青葉区
- 床 面 積 約800㎡
- 設 備 無停電電源装置、自家発電装置、専用空調機、ハロンガス消火設備 等
- サービス内容
 - ・インターネット接続サービス
 - ・インターネットサーバハウジングサービス
 - ・インターネットサーバ運用監視サービス
- 運 営 主 体 当社がプロバイダ事業として運営している「246-net」
 - ・ホームページアドレス
 - http://www.246.ne.jp（個人向け）
 - http://business.246.ne.jp（法人向け）
- サービス開始 2001年1月20日（予定）

「246-net/Business246」の概要

- 名 称 246-net
 - 個人向けサービス：246-net
 - 法人向けサービス：Business246
- 接続サービス提供地域 市外局番 03、044、045の地域
- サービス内容
 - ダイヤルアップ型インターネット接続サービス
 - 専用線型インターネット接続サービス
 - インターネットサーバホスティングサービス
 - ホテル・マンション向けインターネットサービス
- サービス開始 1997年4月

以 上